

## 市長

平成20年7月に平泉世界遺産登録が予定されており、これに伴う観光客の増加や地域経済の活性化が期待される場所です。本市においては白鳥館遺跡や長者ヶ原廃寺跡遺跡が指定される予定であり、周辺の既存施設の観光活用推進と共に民間の取り組みの活性化を促すことが重要です。現在当市では観光行政の指針として奥州市観光基本構想を作成中であり、その中に重点的観光施策として複数の戦略プログラムを設定し重要性の高い施策や喫緊の課題について優先的に着手することとしています。

## ○地区センターについて ○幼児教育施設について



ひろふみ 今野 裕文  
議員

## 質問

胆沢区内の各公民館での説明会の内容をまとめてみますと、公民館と地区センターの両予算は総体として現状を維持されること。

○その額は、2ないし3年したら減額するということはありません。

○公民館職員を1人引き上げ、その人件費相当を地区センターの予算にあてること。



小山公民館（胆沢区）

○受け皿である地区振興会の準備が整わない段階での職員の引き上げは見送ること。

など多くの約束をされておりますが、これらの事項について、間違いないかお尋ねします。

## 市長

その通りの考え方で話をしています。地域の皆さんのご理解をえながら無理のないタイミングを見計らいながら進めていきます。

## 質問

奥州市胆沢区幼児教育施設PTA連絡協議会の要望書（9月20日付け）に対する回答書（10月31日付け）を拝見させて頂きましたが、何を意味するのか理解しにくく、大きくサービスが低下するのではないかと感じた次第です。回答を見直すことを願ひし、各事

項について、具体的に明らかにするようお尋ねします。

## 市長

解答書については味も素っ気もない表現だったと思います。もっと分かるようなものになりたいと思います。3歳児15名以上のクラスには保育補助員を基準に沿って配置します。園児バス添乗員については更に検討が必要になるとがわかりましたので検討していきたい。除雪については、従来の考え方で予算措置しております。

## ○消防団統合について ○家庭ごみの有料化について



なかざわ としあき  
中澤 俊明  
議員

## 質問

消防団が市町村合併協議の中で、平成20年度を目途に新たに再編統合するとされており、統一消防団制と連合消防団制と二つの考えがあります。統一団制となれば地域密着性が減退し結束力、消火力、士気力が低下し更なる団員の減少が危惧されます。地域消防のコミュニティの低下につながるかと心配されます。すでに連合消防団として、一つに統合され現在五区にそれぞれ一団ずつ置かれている組織（連合消防団）が望ましいと考えますが、お伺い致します。

## 市長

この問題については、五つの消防団幹部、最終的には団員の皆様の十分な議論と合意形成を諮った上で進めていくことが大事だと思っています。市長の考えで、まずはこうだ、という事で押し切っていくことは適当でないと思います。もう少し詰めの議論をしていただきたいと思います。

## 質問

家庭ごみの有料化については全国の市町村の52%が進んでいる状況にあります。県内では北上市が具体的に検討を進めているとの事ですが、奥州市がそうならないように、動向が懸念されますのでお伺い致します。

## 市長

北上市で実施されれば本県初の有料化に踏みきる事になり



大雨洪水排水作業（水沢区）